

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/31 (3/24との比較)	3/31 (3/24との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	1.63% (▲0.02)	83.64円 (+0.51%)	+2.0% 2016年4Q	0.50%	鉱工業の伸びが大きく、GDP（国内総生産）は市場予想を上回る内容。米国国債利回りの動きに連れて、国債利回りは小幅低下。協調減産への期待が強まり原油価格が上昇する中、カナダドルは対円で上昇。	国際商品貿易などの発表が予定され、景気回復の度合いを探る状況。引き続き、金融緩和政策が維持される見通しの中、国債利回りはレンジ内での推移となるとみられる。
	Aaa	 金利上昇		 景気安定	 据え置き局面		
ブラジル 	BB	9.87% (+0.02)	35.68円 (▲0.36%)	-2.5% 2016年4Q	12.25%	中銀が発表した四半期インフレ報告で、インフレの落ち着きを指摘したことから、国債利回りは小幅上昇。レアルは年金改革法案などを巡り不透明感がくすぶることなどから、対米ドル、対円ともに下落。	製造業PMIや鉱工業生産などの公表を予定。政治では年金改革法案の進捗が懸念されるなど先行き不透明感もあることから、債券・為替ともに上値の重い展開を予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A	6.94% (▲0.02)	5.95円 (+0.25%)	+2.4% 2016年4Q	6.50%	中銀は金融政策決定会合で、政策金利を0.25%引き上げ6.5%とした。NAFTA（北米自由貿易協定）の再交渉に対する警戒感が後退したことなどを背景に、ペソは対米ドル、対円ともに上昇。国債利回りは小幅低下。	製造業PMIやインフレ統計などの公表を予定。足元、インフレ率が中銀目標の上限を上回って推移する中、動向には注目。NAFTAの再交渉を見据え、債券・為替ともに神経質な展開を予想。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/31 (3/24との比較)	3/31 (3/24との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
オーストラリア 	AAA	2.70% (▲0.05)	84.98円 (+0.12%)	+2.4% 2016年4Q	1.50%	新築住宅販売件数や求人件数が増加し、高水準となる。世界的に金利が低下する中、国債利回りは低下。中国の経済指標が好感される中、オーストラリアドルは対円で上昇。	中銀は政策金利を据え置くと予想される中、小売売上高や貿易収支などの公表が予定。引き続き中国と米国の政治経済動向にも注目が集まる中、国債利回りはレンジ内での動きが予想される。
	Aaa	 金利上昇		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	3.19% (▲0.02)	78.06円 (▲0.16%)	+2.7% 2016年4Q	1.75%	建築許可件数は大幅に増加。企業景況感指数は低下した一方、活動見通しは小幅上昇するなど、経済指標はまちまち。乳製品市況にも明確な方向性が見られず。ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは小幅低下。	経済指標の改善が一巡し、明確な方向性が見られない中、発表予定の住宅価格などもこうした状況を変える内容とはならない見込み。乳製品入札の落札価格など、商品価格動向が金融市場に影響を与える見込み。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.64% (▲0.10)	12.93円 (▲1.44%)	+1.8% 2016年4Q	0.50%	失業率は小幅改善し、小売売上高も市場予想を大幅に上回る内容。原油価格が持ち直したものの、金融市場では同国経済の先行きに対する懸念が依然優勢。ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは低下。	景気拡大をけん引する要因に欠ける中、足元の経済指標の改善に対する金融市場の前向きな反応は限定的。発表予定の製造業PMIなどの経済指標は底堅い動きが予想されるものの、通貨は上値の重い動きが続く見込み。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/31 (3/24との比較)	3/31 (3/24との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
南アフリカ 	BBB	7.94% (+0.36)	8.30円 (▲7.46%)	+0.7% 2016年4Q	7.00%	大統領は内閣改造を実施し、財務相をはじめとする多くの閣僚を解任。政治的な緊張感の高まりを受けて、国債利回りは上昇。ランドは対米ドル、対円ともに大幅下落。	閣僚の大幅な入れ替え人事による政治的リスクの高まりを受けて、債券・為替ともに上値の重い展開を予想。格付機関によるレビューを控え、発表内容に注目。経済指標は製造業PMIなどの発表を予定。
	Baa2	 金利横ばい	 景気純化	 景気純化	 利上げ局面		
インドネシア 	BB+	6.85% (▲0.06)	0.84円 (+0.12%)	+4.9% 2016年4Q	4.75%	マネーサプライの前年比伸び率は高水準を維持。米国債券市場が落ち着きを見せる中、海外からの投資資金の流入が強まったことなどを背景に、国債利回りは低下。ルピアは対円で上昇。	製造業PMIや外貨準備高、インフレ統計などの発表を予定。インフレ上昇圧力により、利下げ余地が低下するも、相対的な利回り水準の高さが選好されやすいことから、債券・為替ともに底堅い推移を予想。
	Baa3	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.76% (▲0.02)	1.72円 (+0.94%)	+7.0% 2016年4Q	6.25%	GST（物品・サービス税）に関する法案は開会中の国会に提出され、下院を通過。同税制の7月導入に向けての順調な進捗が好感されやすい状況。国債利回りは小幅低下。ルピーは対米ドル、対円ともに上昇。	金融政策決定会合が開催予定で、政策金利は据え置かれる見通し。現政権による新税制の導入をはじめとする国内改革の進展が市場で好感されやすく、債券・為替ともに堅調な推移を予想。
	Baa3	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気回復	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

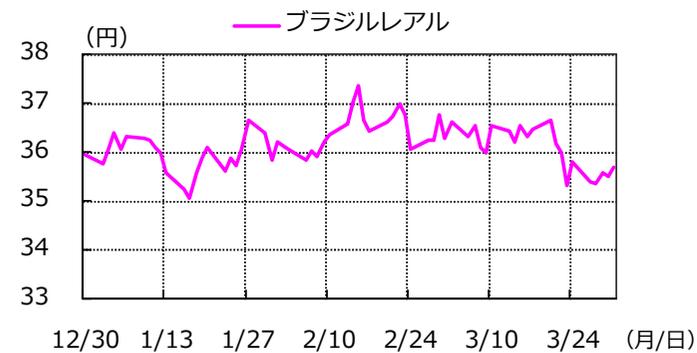
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/30～2017/3/31

カナダ



ブラジル



メキシコ

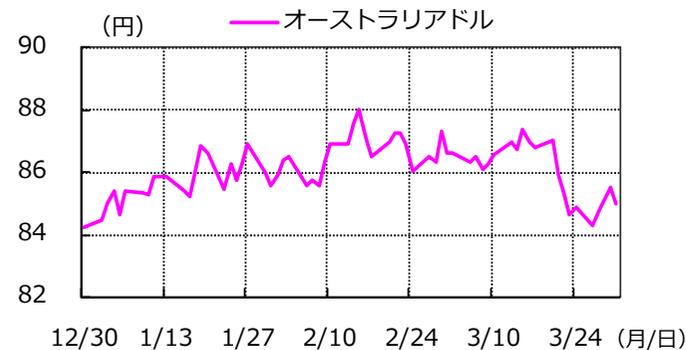


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/30～2017/3/31

オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

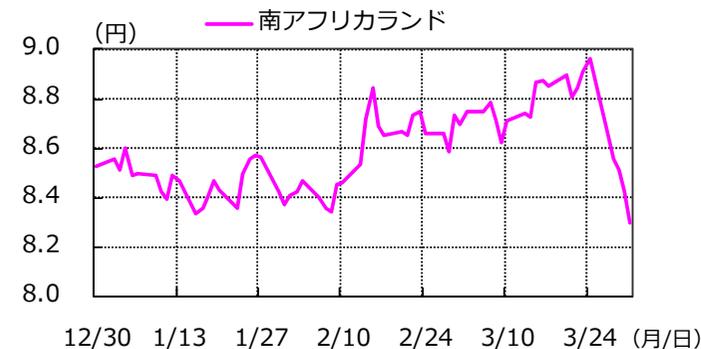


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。(出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成)

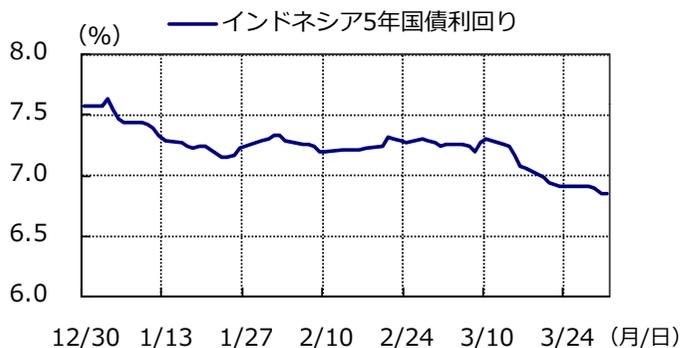
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/30～2017/3/31

南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限4.104%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。